

川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023 令和4年度評価結果

■病院全体の戦略に係わる重要評価指標

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
第1章1.6									
1	ベッド回転率(人/床/月)	2.83	3.07	0.24	○	○分析 ・クリニカルパスの活用促進や、早期退院促進の取り組みなどによる平均在院日数短縮が影響し計画値達成。  ○今後の取組 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	0.22	2.85	×
2	入院単価(円)	76,399	78,813	2,414	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の対応による特例加算及び特定入院料算定が影響し計画値達成。  ○今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症特別加算の算定は特例期限まで継続する。 ・早期退院促進により入院期間の適正化を図る。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	1,140	77,673	○
3	DPC医療機関群 ※医療機関の基本的な診療機能によって設定された分類のこと。①大学病院本院群、②特定病院群、③標準病院群があり、計画値の特定病院群は大学病院本院並みの高度な医療を提供している医療機関。	特定病院群	標準病院群	未達成	×	○分析 ・令和4年4月の判定(判定期間:令和2年10月から令和3年9月まで)では特定病院群の基準を満たすことができず特定病院群への移行未達成。次回の判定は令和6年4月(判定期間:令和4年10月から令和5年9月)。 ・新入院患者数、手術件数は微増したものの、高度な医療技術の提供が必要な患者の増加には至らず、手術の難しさを数値化した外保連手術指数などが伸びなかった。  ○今後の取組 ・紹介患者を増やし、重症度の高い新規紹介患者を獲得する。 ・手術室の効率的な運用により手術件数を増やす。	—	標準病院群	—
4	新入院患者数(人)	14,283	12,695	▲1,588	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加したことから、計画値に未達。  ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。 ・診療案内誌の作成により、当院で提供している高度医療について医療機関にPRする。	600	12,095	×
5	経常収支	黒字	赤字	未達成	×	○分析 ・医業収益の減少及び新型コロナウイルス感染症補助金等の減少によるもの。  ○今後の取組 ・各指標の達成を目標に適正な収益を確保し継続的な黒字経営を達成する。	—	黒字	○

■各部門の戦略に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
□スタッフ 第2章2.1.1・2.2.1・2.3.1・2.4.1									
6	DPCⅢ・Ⅲ超え入院患者割合 ※DPC制度では、全国平均在院日数の入院期間をDPC入院期間Ⅱ、Ⅱより早い入院期間をDPC入院期間Ⅰ、Ⅱより長い入院期間をDPC入院期間Ⅲとしている。期間が短いほど診療点数が高くなる。	25.0%	25.3%	0.3%	×	○分析 ・クリニカルパスの活用促進や早期退院促進の結果、在院日数は短縮傾向であるが、一部の患者の在院日数が長期化している。  ○今後の取組 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。 ・早期退院促進により入院期間の適正化を図る。	▲0.4%	25.7%	×
7	多職種によるチーム活動数	15	15	達成	○	○分析 ・必要なチーム医療を提供できた。  ○今後の取組 ・診療報酬加算や施設基準を考慮し、今後もチーム活動を継続していく。	1	14	○
8	病棟の看護師配置(7対1)	必要数配置	必要数配置	達成	○	○分析 ・看護師配置7対1の要件は計画どおりに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応のため看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の縮小・閉鎖を余儀なくされた。  ○今後の取組 ・全病棟稼働のために看護師の定数(544人)確保に努める。 ・部署別必要看護師数の精査及び月次の管理徹底。	—	必要数配置	○

川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023 令和4年度評価結果

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
9	病棟の看護師配置(夜間12対1)	10か月配置	12か月配置	達成	○	○分析 ・看護師配置夜間12対1の要件は計画どおりに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応のため看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の縮小・閉鎖を余儀なくされた。  ○今後の取組 ・看護師の定数(544人)確保に努め、引き続き常時配置状況を確認し、要件の維持に努める。	—	12か月配置	○
10	常勤職員数(人)	定数確保	828	▲41	×	○分析 ・定員(869人)に対し配置数は41人未達となった。職員の定数増が認められたものの、十分な人材確保にはつながらず職員数が前年度と比較し21人減の結果となった。  ○今後の取組 ・医師確保のため、大学病院の医局と緊密な連携を図る。また、看護師・医療技師・医療事務の確保に努める。	▲21	849	×
11	医師事務作業補助者配置(人)	26	19	▲7	×	○分析 ・計画値に対し7人未達である。応募者は募集数を超える結果となったが、合格に至ったのは3人であった。  ○今後の取組 ・募集要項の送付、病院見学の受入れ等による積極的な採用活動。 ・病院実習受入れに向けたプランの策定。 ・医師のタスクシフティングを担うために必要なスキルの向上を図る教育システムの推進。 ・タスクシフティング推進に向けた各種外来業務の明確化・標準化を図る。	—	19	×
□機能 第2章2.1.2・2.2.2・2.3.2・2.4.2									
12	紹介患者数(人)	17,584	15,932	▲1,652	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な紹介患者獲得のための地域医療機関への訪問などが展開できなかった。  ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。	730	15,202	×
13	手術件数(件)	6,500	5,584	▲916	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響で病床数が制限されたことにより、手術件数が伸びなかった。  ○今後の取組 ・診療科ごとに決められている予約枠の見直し等手術室の運用の効率化。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	183	5,401	×
14	入院時支援加算算定数(件)	1,915	1,037	▲878	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響で病床数が制限されたことにより、対象患者が減少した。  ○今後の取組 ・入院時支援加算1の算定拡大に向けて、人員体制強化及び予定入院対象診療科増の推進。	189	848	×
15	ISO15189の認定 ※臨床検査室認定のこと。公益財団法人日本適合性認定協会が臨床検査室の審査を行い、臨床検査を行う能力を有していることを認定するもの。	全分野認定	全分野認定	達成	○	—	—	全分野認定	○
16	特定看護師数(人)	5	3	▲2	×	○分析 ・着実に人数を増やしているものの、新型コロナウイルス感染症への対応により、人員を派遣することが困難であったため、計画値に未達。  ○今後の取組 ・専門スタッフを育成する教育環境及び意識の醸成、資格取得のための派遣が可能な人員体制を構築し人選を進める。	1	2	×
□経営 第2章2.1.3・2.2.3・2.3.3・2.4.3									
17	診療支援に係わる出来高収益(百万円)	2,469	2,017	▲452	×	○分析 ・前年度に比べ新型コロナウイルス感染症患者の対応による特例加算及び特定入院料算定の減収が大きく影響。  ○今後の取組 ・診療支援部門である薬剤部、臨床工学科、臨床栄養科等で、患者指導や機器管理を確実に実施することにより算定可能な指導料や管理料を取得する。	▲856	2,873	○

川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023 令和4年度評価結果

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
18	急性期一般入院料1算定	常時算定	常時算定	達成	○	○分析 ・看護師配置7対1の要件は計画どおりに維持しているものの、新型コロナウイルス感染症患者の対応のため看護師の集中配置により、一時的に一般病棟の縮小・閉鎖を余儀なくされた。  ○今後の取組 ・全病棟稼働のために看護師の定数(544人)確保に努める。 ・部署別必要看護師数の精査及び月次の管理徹底。	—	常時算定	○
19	看護職員夜間12対1配置加算1算定	10か月算定	常時算定	達成	○	○分析 ・全ての月で算定。  ○今後の取組 ・看護師の定数(544人)確保に努め、引き続き常時配置状況を確認し、要件の維持に努める。	—	常時算定	○
20	医業収益(百万円)	18,358	15,742	▲ 2,616	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症による影響により計画値に未達。  ○今後の取組 ・早期退院促進による入院期間の適正化や地域医療機関との連携を強化する等入院単価を向上させるとともに重症患者の獲得に努める。 ・手術室の効率的な運用により手術件数を増やす。	▲ 903	16,645	×

■事業計画に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
第3章3.1・3.2・3.3・3.4・3.5・3.6									
21	川口市医師会等に占める登録医割合	55.0%	60.7%	5.7%	○	○分析 未登録の医療機関に対し登録の働きかけをした結果、登録医療機関の増加につながった。  ○今後の取組 ・救急紹介ホットラインの断り縮減。 ・訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化。	13.5%	47.2%	×
22	紹介率(地域医療支援病院)	90.0%	90.5%	0.5%	○	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な紹介患者獲得のための地域医療機関への訪問などが展開できなかったものの計画値達成。  ○今後の取組 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。	2.4%	88.1%	×
23	逆紹介率(地域医療支援病院)	85.0%	79.7%	▲ 5.3%	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域開業医等への逆紹介促進が困難なケースもあり、計画値に未達。  ○今後の取組 ・訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化。 ・慢性患者等の適正な逆紹介の推進。 ・医師事務作業補助者を適正に配置し、書類作成業務等の医師業務のタスクシフティングを推進する。	▲ 1.5%	81.2%	×
24	救急車受入数(件)	7,402	8,133	731	○	○分析 ・受入れ件数は計画値の7,402件を大きく上回っているが、新型コロナウイルス感染拡大による救急の受入れ要請が14,578件(R3実績12,076件)と件数が多かったため、二次救急の応需率が下がり計画値に未達。 ・救急搬送患者の入院率は、新型コロナウイルス感染症疑い患者の救急要請が増え、入院に至らない患者の割合が増加したことから計画値に未達。	843	7,290	×
25	二次救急の応需率	75.0%	55.8%	▲ 19.2%	×	○今後の取組 ・救急ワークステーションによる救急受入の推進。 ・早期退院促進によりベッド満床による断りを減らす。	▲ 4.6%	60.4%	×
26	救急搬送患者の入院率	53.0%	50.6%	▲ 2.4%	×	○分析 ・小児科のトリアージ実施体制は整備済み。  ○今後の取組 ・全科のトリアージ実施体制整備に向けたプロジェクトチームを編成し運用を検討中であり、令和5年度中の体制整備を目指す。	▲ 0.9%	51.5%	○
27	院内トリアージ実施体制 ※救急外来で患者の重症度を判断し、診察の優先順位を決めること。	整備	整備中	未達成	×	○分析 ・7階A病棟が感染症対応病棟となっていることから、整備の分割施工を進めていたが、令和4年8月をもって整備が完了した。  ○今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症の入院患者数や状況を踏まえながら、病室への家具類の設置を順次行うなど早期の開設を目指す。	—	計画	○
28	緩和ケア病棟の設置(床)	18	18	達成	○	○分析 ・7階A病棟が感染症対応病棟となっていることから、整備の分割施工を進めていたが、令和4年8月をもって整備が完了した。  ○今後の取組 ・新型コロナウイルス感染症の入院患者数や状況を踏まえながら、病室への家具類の設置を順次行うなど早期の開設を目指す。	—	整備中	×
29	無菌治療室の増床(床)	9	9	達成	○	—	—	9	○

川口市立医療センター経営改革プラン2021-2023 令和4年度評価結果

■主要指標(重複する上記重要評価指標を除く)

No	評価指標	R4(計画)	R4(実績)	計画値対比	R4達成状況	R4評価(分析・今後の取組)	R3実績対比	(参考) R3(実績)	(参考) R3達成状況
第4章4.2									
30	入院患者数(人)	167,663	138,248	▲ 29,415	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加し、入院患者数・病床利用率ともに計画値に未達。	▲ 3,364	141,612	×
31	病床利用率(退院含む)	90.1%	72.2%	▲ 17.9%	×	○今後の取組 ・全病床稼働に向けた看護師の適正配置。 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。 ・重症度の高い患者を増やすため、訪問活動や地域連携推進懇話会の開催等地域医療機関との連携強化を図る。 ・救急ワークステーションによる救急受入の推進。	0.2%	72.0%	×
32	病床利用率(退院除く)	82.4%	65.6%	▲ 16.8%	×		▲ 0.2%	65.8%	×
33	退院患者数(人)	14,291	12,666	▲ 1,625	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う病床数の制限実施により、ベッド満床による入院患者の断り件数が増加したことから計画値に未達。 ○今後の取組 ・地域医療機関との連携強化を図り、円滑な転院調整等による早期退院を促進する。 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。	530	12,136	×
34	平均在院日数(日)	10.7	9.9	▲ 0.8	○	○分析 ・退院調整会議などを行い、入院の長期化が予想される患者に対し早期介入・積極的介入を行った結果、計画値達成。 ○今後の取組 ・地域医療機関との連携強化を図り、円滑な転院調整等による早期退院を促進する。 ・クリニカルパスの適用率を上げ効率的なベッドコントロールを実施する。	▲ 0.8	10.7	×
35	緩和ケア病棟の利用率	75.0%	—	—	—	—	—	—	—
36	緩和ケア病棟の入院単価(円)	52,070	—	—	—	—	—	—	—
37	外来患者数(人)	269,712	268,834	▲ 878	×	○分析 ・新型コロナウイルス感染防止対策としての外来受診制限や、医療機器の更新に伴う放射線科の休診などの影響により計画値に未達。 ○今後の取組 ・地域連携活動による紹介患者や救急患者などを中心とした患者の確保。 ・処方期間の正常化による治療経過確認頻度を増やす。 ・救急紹介ホットライン患者の受入強化。	▲ 6,054	274,888	○
38	外来単価(円)	17,004	14,541	▲ 2,463	×	○分析 ・かかりつけ医への逆紹介を推進したが、単価の低い再診患者の増加や、医療機器の更新に伴う放射線科の休診などの影響により計画値に未達。 ○今後の取組 ・精密な経過観察が終了した患者の逆紹介推進。 ・地域医療機関との連携強化を図り、専門的な治療や検査が必要な重症度が高く診療単価の高い患者の獲得の推進。 ・救急紹介ホットライン患者の受入や地域医療機関との連携強化を図り紹介患者数を増やす。	▲ 1,673	16,214	×